

若葉が丘だより



医療法人社団 若葉会
介護老人保健施設 若葉が丘
〒224 - 0057
横浜市都筑区川和町 2674 - 1
Tel 045 - 948 - 1281
発行 平成 29 年 5 月

新緑がさわやかな季節となりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか？
新年度に入り、若葉が丘では毎年恒例になりましたお花見会を開催しました。桜の方が間に合わず心配しておりましたが、“花より団子”のご利用者様が多く、「楽しかった。」「美味しかった。」との声を頂けました。
今年度も、季節を感じて頂けるよう四季折々の行事を考えております。

さて、皆様も 2025 年問題という言葉をお聞きになった事があると思います。今後、介護保険料を負担する人口が減少し、団塊の世代が 75 歳以上となり超高齢者社会になるといわれています。国でも重度の要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを「人生の最期」まで続けられるように体制作りを進めています。

このような中、皆様には多くの介護施設がある中で若葉が丘を選んで頂き沢山のご利用者様にお逢い出来たことを嬉しく思っております。

若葉が丘は介護老人保健施設です。介護老人保健施設の特徴のひとつとして、食事・入浴・排泄などのケア、医療上のケアを受けながら、生活の中でリハビリや機能訓練を通して在宅での生活に戻れるように支援するという事があります。その為、施設には医師・看護師・介護士・理学療法士・作業療法士・支援専門員・支援相談員・事務員などの職種がそれぞれの専門性を活かし、一人ひとりのご利用者様に関わっています。

若葉が丘でもその特徴を最大限に活かしつつ、それに加え併設病院や併設 24 時間訪問看護と連携しながら、在宅復帰を視野に日々取り組んでいます。今の状態で家に帰ってきて、食事は？排泄は？ベッドは？独りになる時間は？夜間はどうすれば？等の不安は限りなく出てくるのは、当たり前のことです。その一つひとつの不安に対して、ご家族様と専門スタッフによる話し合いを何度も重ねていき、在宅生活への不安を解消していきます。ご利用者様には施設での日常生活やリハビリを通して、ご家族様には介護指導などを通して在宅生活をイメージしてもらっています。また、外出・外泊を繰り返し、在宅での必要なサービスを見極めることで、ご利用者様は勿論、ご家族様にとってもベストな方法・状態でお戻り頂けるよう準備し、在宅生活へ繋いでいます。

人は皆が歳を取り、老いていきます。ご家族様と過ごす時間が少しでも多く、皆様が笑顔で過ごせ、後悔が残らないよう支援をしていきたいと考えています。

信頼される若葉が丘を目指して、これからも地域におけるリハビリ施設の拠点として、地域の福祉を支えられるよう、職員一同努力してまいりますので、今後も宜しくお願いたします。

若葉が丘介護長 芹澤 香寿美

みんな楽しみにしていたお花見会!!
残念ながら今年は桜の開花が遅れていて
満開の桜をながめながら 乾杯! とはいきませんでした。

お花見

職員は着物でお出迎え。
いつもと違うおやつとビールに抹茶やジュースを楽しみながら
会話も自然とはずみました。



家族と一緒にもっと楽しい



おやつに大満足よ



楽しみにしていた花見会



ビールもすすんじゃって
・・・いい気分



おいしいよ
ジュースもおかわり



家族と一緒にもっと楽しい



女同士
ゆっくり会話が出来ました



若葉が丘の宴に満開の笑顔が咲きました。

2階レクリエーション委員会



お花見しましたよ～！！



お花見は桜だけじゃないですよね～！



菜の花に
囲まれて・・・

☆通所リハビリ☆

今回は毎月行われているイベントを紹介したいと思います。
職員も一緒になって、とても楽しい時間を共に過ごしました。

☆フラワーアレンジメント(3月)

ご利用者様それぞれのアレンジで花を挿していただきました。
男性は初めての方が多かったですが、楽しんでいました。



☆お花見会(4月)

残念ながら、桜の花は1分咲きくらいでした。
和菓子とお茶で春らしい雰囲気を楽しんでいただきました。



☆毎月の月制作(4月)

たんぽぽのお花畑をワンちゃんと一緒に散歩するイメージです。
花びらを一枚一枚貼り付けていく細かな作業でしたが、とても素敵な作品に仕上がりました。
是非見に来てください！



リハビリ通信

こんにちは、若葉が丘リハビリです。暖かくなり過ごしやすい季節となりました。認知症という言葉をご存じでしょうか？最近よく聞く機会が増えているのではないのでしょうか。以前は“痴呆”や“ボケ”などと呼ばれており、記憶力の低下や判断力の低下、時間や場所が分からなくなることが主な症状とされています。

認知症の方に対して興味や関心があることを行うことが良いとされていますが「実際何をしたら良いのだろうか？」と疑問に思われるのではないのでしょうか？

今回は、実際に施設で行っていることについてお話させていただきます。



これは利用者様に足浴をしていただいている写真です。

足浴を行い足で温度を感じ気持ちが良いと感じる。リラックスできる。この様なことでも脳に刺激を与えることが出来ます。他にもマッサージや声を掛けながら行うことも皮膚の感覚や聴覚を通し脳への良い刺激となります。

他にも...

- ・グループで運動をする
- ・好きな絵や音楽を聴く
- ・毎日繰り返し日時や場所、名前を確認する
- ・昔の出来事や写真などを見て昔の事を思い出すなども良いとされています。



認知症と聞き、難しく感じることもあるかもしれませんがいろいろな方法があります。ご本人様が興味のあることや話を通し穏やかに過ごせていただけたらより良いと思います。ご家族様しか知らないご利用者様の好きだったこと、行っていたことなど教えていただけたら嬉しいです。

若葉が丘 職員紹介

若葉が丘2F 主任・副主任・リーダー



藪下 修士 若葉が丘2F 主任

生年月日：昭和53年3月22日 干支：午年
職種：介護福祉士 仕事歴：13年目

【仕事に就いたきっかけは？】

まだ、前の仕事をしていた頃、そろそろ神奈川県での仕事がなくなりつつある状況でした。当時は結婚の話も進んでいて、地方へのお出張に出してしまうと1か月～半年間は帰ってこれないことも……。どうしようと悩んでいる時に、行きつけの居酒屋で常連客に勧められたのがきっかけです。

【あなたのセールスポイント・趣味は？】

セールスポイントとは言えないと思いますが、じっとしてられない性分で、うまくそれが仕事に活かせていたらいいのですが。趣味は外で遊ぶこと全般大好きです。長男も大分大きくなり一緒に色々なことにチャレンジ出来る事をとても幸せに感じます。

吉野 孝夫 若葉が丘2F 副主任

生年月日：昭和54年1月25日 干支：未年
職種：介護福祉士 仕事歴：15年目



利用者様に名前までは覚えていただけなくても、顔を覚えてもらい安心してもらえることです。

【仕事をしていて嬉しいことは？】

3.11 震災の日 入浴介助中でした。浴槽のお湯が大波で大変になり、急いで利用者様を浴槽から出して対応したことです。

【忘れがたいエピソードは？】



佐藤 有理 若葉が丘2F リーダー 兼務ケアマネ

生年月日：昭和54年12月14日 干支：未年
職種：介護福祉士 ケアマネージャー 仕事歴：14年目

【この仕事に就くまでの職業経験は？】

派遣のバイトが多く、毎日違う引っ越し業者に行き、現場で下され自力で帰ってくることも多々ありました。今では考えられませんが、50人で2tトラックに積み、現場まで運ばれる恐怖体験もありました。舞子後樂園スキー場という雪山のロッジで住み込みのバイトをしながらスノーボードを楽しんだのも今ではいい思い出です。

【ストレス解消方法は？】

ホームセンターに行き、木材などを購入し家の中をDIYすることです。後は、料理をしながらお酒を飲むことです。

若葉が丘 職員紹介

通所リハビリテーション主任 & 若葉が丘3F副主任



八木下 浩明 通所リハビリテーション 主任

生年月日：昭和40年4月6日

干支：巳年

職種：介護福祉士

仕事歴：13年目

【この仕事に就くまでの職業経験は？】

2社に勤めましたが、2社ともルート営業です。お店やその本部を巡り、自社の製品を勧めていく仕事です。とてもハードな時期もありましたが若かったので乗り切れたと思います。

【あなたのセールスポイントは？】

利用者様に誠心誠意接すること。営業時代はお人よし過ぎて、「八木ちゃんは営業に向いてないよ。」と得意先の社長に言われたことがあります。

【忘れがたいエピソードは？】

学生時代クリスマスケーキの配達のパイトをやっていた時のことです。細かな地図もなく、家にも番地の表示があまり出ていない地域で最後の一つをなかなか見つけられなかったとき、サラリーマン風の男性2人が探してくれたことです。結局配り終わった頃には日付が変わっていました。

青木 恵 若葉が丘3F 副主任

生年月日：昭和55年4月27日

干支：申年

職種：介護福祉士

仕事歴：16年目



高校で進路を決めるにあたり、学校見学会に参加して、その学生が作った自助具を見せてもらった時に私もこういうことがしたいと思ったのが最初です。そこから介護や福祉の世界に興味を持ちました。

【仕事に就いたきっかけは？】

仕事柄、悲しかったり、辛かったりする言葉を投げかけられることもありますが、そういう時に自分の心や、感情をコントロールするのが、なかなか上手くいかないこともあり、日々気づかされることが多いです。まだまだ勉強と修業が必要です！！ほめて頂けることもたくさんあって、‘ありがとう’とか‘大好き’とかいって頂けると喜んで働きます（笑）

【仕事の大変な所や嬉しかったことは？】

孫のようにかわいがってくれた方がリハビリでマフラーを編んでいたのですが、出来上がったものを私に下さったことです。麻痺のある手で一生懸命編んでいたのをそばで見ていたので、頂いたときは本当に嬉しかったです。

【忘れがたいエピソードは？】



未来の老健施設とは

～介護保険の制度改革～

2015年の介護保険の制度改革では何が変わったか？

1) 利用者の金銭負担の増大。

- ・平成27年8月からサービス利用時の自己負担2割が新設された。
- ・施設に入居している方の食費や居住費の補助をする補足給付の対象者が絞られた。

2) 介護保険のサービス利用者を、重度者に限定。

- ・平成29年4月から要支援者1・2の通所介護（デイサービス）と訪問介護（ホームヘルプサービス）を、介護保険から市町村の事業に移行。
- ・平成27年から特養への入居は、原則介護度3以上になった。

3) 市町村（保険者）の役割・責任が増えている。

- ・平成28年4月から小規模通所介護（小規模デイサービス）、療養通所介護（医療・介護デイサービス）が地域密着型サービスに移行した。
- ・平成30年度からケアマネ事業所の指定が市町村に移行する。
- ・平成30年度までに市町村は地域支援事業の総合事業を開始する。
(市町村が地域の高齢者の実情に応じて、必要な『生活支援』『介護予防』を総合的に行う事業。)

2018年の介護保険・介護報酬の改定では何が変わるのか？

4月12日衆院厚生労働委員会は介護保険関連法改正案を自民、公明両党などの賛成多数で可決されました。この改正案では・・・。(以下の2点が主な柱といわれています。)

- ① 現役並みの所得がある高齢者がサービスを利用した場合、自己負担割合を現在の2割から3割に引き上げる。(単身者で年収約340万円以上、年金収入のみでは344万円。夫婦世帯は436万円以上。)
- ② 40～64歳の現役世代が払う介護保険料の計算方法を変え、収入に応じて負担が増す「総報酬割り」を導入。

2018年の介護報酬改定では2025年（団塊の世代が75歳を超え後期高齢者となる。）への通過点として、お金に余裕がある要介護高齢者の自己負担増や、今まで手厚かった部分を少しずつ省いていくという流れが強まっています。

その為、「施設から在宅へ」という流れを変わずに推進して行く事と、「軽度者に対する生活支援サービス・福祉用具貸与等やその他の給付についての見直し」についての検討が進められています。

そうすると、生活を支えるサービスを失い今までの生活が成り立たなくなってしまう高齢者が出る恐れと、軽度者への生活援助が重度化予防にも役立っているという意見も多い事から、従来のサービスに変わる受け皿が必要になります。その事からも、「地域の高齢者を地域の資源にて支えていく」という形が早急に求められています。

(軽度者とは：一般的に要介護2以下と考えられています。)

(若葉が丘 相談員深川)